

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年11月29日 9時24分 ~ 9時54分	平成23年11月29日 9時24分 ~ 9時54分	平成23年11月29日 9時24分 ~ 9時54分	平成23年11月29日 10時30分 ~ 11時00分	平成23年11月29日 10時30分 ~ 11時00分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.2E-05	0.01	6.6E-03	3.3	7.7E-05	0.04	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.9E-05	0.01	8.1E-03	2.7	1.1E-04	0.04	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
I-131 (約8日)	平成23年11月29日 10時30分 ~ 11時00分	ND	-	平成23年11月29日 11時30分 ~ 12時00分	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)		5.1E-03	2.6		5.7E-05	0.03	2E-03
Cs-137 (約30年)		6.3E-03	2.1		5.4E-05	0.02	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約3E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 3/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部1階)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部1階)		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
試料採取日時刻	平成23年11月29日 12時30分 ~ 13時00分		平成23年11月29日 12時30分 ~ 13時00分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	2.1E-04	0.11	1.2E-04	0.06			2E-03
Cs-137 (約30年)	2.7E-04	0.09	1.8E-04	0.06			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

1E- とは、 $1 \times 10^{-}$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 4/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年11月30日 9時00分 ~ 9時30分	平成23年11月30日 9時00分 ~ 9時30分	平成23年11月30日 9時00分 ~ 9時30分	平成23年11月30日 11時00分 ~ 11時30分	平成23年11月30日 11時00分 ~ 11時30分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	4.6E-04	0.23	7.8E-04	0.39	4.4E-04	0.22	2E-03
Cs-137 (約30年)	5.9E-04	0.20	9.8E-04	0.33	5.0E-04	0.17	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E - とは、 ． × 1 0 ⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 5/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南西側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	
	平成23年11月30日 採取中止			平成23年11月30日 12時00分 ~ 12時30分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	-	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	-	-	2.6E-04	0.13	7.0E-04	0.35	2E-03
Cs-137 (約30年)	-	-	3.1E-04	0.10	8.4E-04	0.28	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約9E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約9E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 6/6 >

参考値

(データ集約 : 12/2)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)		3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部1階)				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)			
試料採取日時刻	平成23年11月30日 10時00分 ~ 10時30分		平成23年11月30日 10時00分 ~ 10時30分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	8.5E-05	0.04	1.3E-04	0.07			2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-04	0.03	1.3E-04	0.04			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E - とは、 ． × 1 0 ⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約6E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。